

# なら生協連 ニュース

No.25  
97. 6.16

奈良県生活協同組合連合会  
奈良市恋の窪1丁目2-2 ならコア気付  
TEL (0742)34-3535  
FAX (0742)34-0043

## 山の辺の道を歩く PART-10



### たけの うちかんこうしゅうらく 〈竹之内環濠集落〉

山の辺の道はやがて天理市萱生町かように入る。そしてその北に続く竹之内町に残る環濠集落は戦乱に明け暮れた中世の名残を止めている。集落は標高100メートルに位置し、大和で最も高い集落といわれる。

南北朝の動乱から筒井順慶の大和統一まで打ち続く戦乱に対し、民衆は集落の周囲に堀を作り、内側に竹やぶをめぐらし外敵から自らを守った。しかし竹やぶは集落が広がるにつれ消滅し、いまはそこここに点在するのみである。

集落に足をふみ入ると道は曲りくねり、行く手に塀が立ち塞がり容易に前進できない。集落がそのまま要塞と化している。動乱の世をしたたかに生きぬいた民衆の智恵とエネルギーを垣間みる。

# 第9回 奈良県生

5月31日（土）共済会館やまとに於いて第9回通常総会が来賓3名の列席をいただき開催されました。理事・代議員・オブザーバーなど65名の参加があり、提案された議案は全て承認されました。

## 繁田会長の挨拶

今回8番目のメンバーであります樟蔭女子短大生協を紹介出来ることは、嬉しいことです。昨年は、色々な事件がおきましたが、こういう事件は1回限りにして欲しい。「災い転じて福となす」という言葉を基本姿勢として、この1年間実際に進んで参りました。また我々の強力なメンバーであったおやさと生協が退会となりましたが、おやさと生協のご功績に対して心よりお礼を申し上げます。



開会の挨拶をする繁田会長

## 来賓の方々



奈良県生活環境部県民生活課課長 北岡 四郎(左)  
奈良YMCA所長 藤井 辰男(中)  
奈良県生活環境部県民生活課係長 川内 輝明(右)



議長 ならコープ村上常任理事

## 承認された議案

- 第1号議案 1996年度活動報告と決算報告及び監査報告承認の件
- 第2号議案 1996年度剰余金処分案承認の件
- 第3号議案 1997年度活動計画および予算案承認の件
- 第4号議案 1997年度借入金最高限度額承認の件
- 第5号議案 役員補充の件
- 第6号議案 その他（特別決議の採択 他）



全員の賛成により議案は承認されました

# 協連合会通常総会

各生協からの代議員報告がありました



奈良女子大学生協の草野さん



奈良教育大学生協の高山さん



奈良高専生協の寺西さん



県立商科大学生協の津田さん



労済生協の武本さん



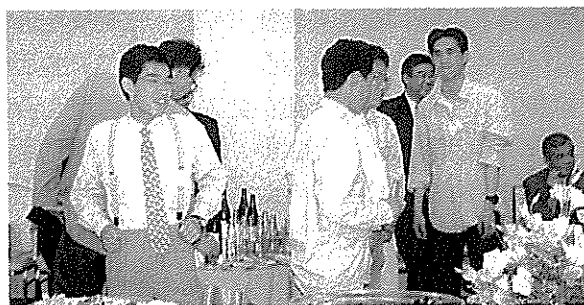
ならコープの横田さん

監 査 報 告



佐藤監事

楽 しく 談 笑

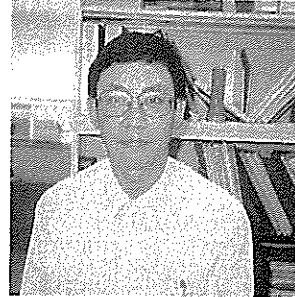


総会終了後の交流会

# 新 理 事 紹 介



津田 康英理事  
奈良県立  
商科大学学生協理事



小林 和美理事  
樟蔭女子短期  
大学生協理事

## 退任しました ご苦労さまでした

奈良県立商科大学学生協の堀田新五郎理事が海外留学にともない、またおやさと生協の解散により、上田久司理事が退任することになりました。

総会の後、両理事より退任の挨拶をいただき、連合会から感謝の花束を贈呈しました。



退任の挨拶をする堀田理事（左）上田理事

## 全国から祝電やメッセージをいただきました

奈良県森林組合連合会

奈良県農業協同組合中央会

奈良県青年団協議会

日本生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会関西地連

大阪府生活協同組合連合会

京都府生活協同組合連合会

和歌山県生活協同組合連合会

兵庫県生活協同組合連合会

滋賀県生活協同組合連合会

鳥取県生活協同組合連合会

高知県生活協同組合連合会

三重県生活協同組合連合会

愛知県生活協同組合連合会

石川県生活協同組合連合会

鹿児島県生活協同組合連合会

全岐阜県生活協同組合連合会

岡山県生活協同組合連合会

島根県生活協同組合連合会

広島県生活協同組合連合会

山口県生活協同組合連合会

愛媛県生活協同組合連合会

福岡県生活協同組合連合会

神奈川県生活協同組合連合会

富山県生活協同組合連合会

長崎県生活協同組合連合会

岩手県生活協同組合連合会

埼玉県生活協同組合連合会

長野県生活協同組合連合会

沖縄県生活協同組合連合会

生活協同組合おおさかパルコープ

おかやまコープ

生活協同組合コープかがわ

名古屋勤労市民生活協同組合

東京都生活協同組合

いわて生活協同組合

生活協同組合コープかごしま

ありがとうございました。

## 特 別 決 議

生活の安心・安全を守り、持続可能な社会をめざして、組合員および地域の人たちと幅広いネットワークづくりを

今、私達を取り巻く環境は、経済活動においては国際的な自由化の流れの中で企業及び組織の存亡をかけた競争が行われ、一方に資本の集中がまた一方に倒産が進んでいます。これら経済活動が、全体として生活の質を豊かにしてきた反面、過大な競争状況の中で資源の浪費を促進する働きをしてきました。さらに、経済的弱者と強者または国家間の紛争が絶えず、紛争のための兵器製造・兵器使用等さらなる資源の浪費を繰り返しています。このような状況の中で、私達生活協同組合は、組合員の生活の安心・安全をめざしつつ、地球市民の一員として持続可能な社会をめざして、資源のリサイクル・リデュース・リソースの活動や省資源を進める活動に取り組んできました。しかしこれらの活動は、地球的規模での環境負荷を見た場合まだまだ小さく、今後ますます、組合員および地域の人達、さらには世界の人達との連携した取組みが必要になっています。また、地域住民と行政が一体となって、さらに企業をも巻き込んだかたちでの活動を進め、社会システムとして高めていくことが必要です。そういう意味で今年4月1日施行された容器包装リサイクル法は非常に重要な法律で、法の主旨の徹底が求められています。

また、今年の12月、気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）が京都で開かれ世界各国の代表、多くの国際的機関、NGOなど約5千人が参加し、2005年までの二酸化炭素の削減計画を決める重要な会議が開催されます。私達生活協同組合は、組合員への学習活動を中心に、また地域住民にひろくアピールする活動を通じて、国民世論づくりを行っていく必要があります。

経済情勢のきびしい今こそ、私達生活協同組合は安心・安全な暮らしを、また持続可能な社会をめざして環境、平和、福祉の社会的活動をリードすることが求められています。



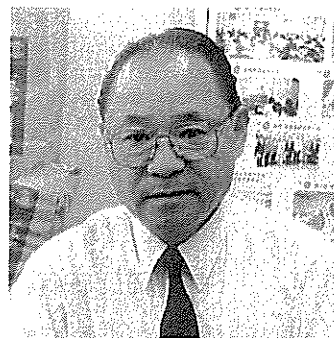
特別決議を読み上げる  
奈良県立商科大生協の緑川 天さん

1997年5月31日  
奈良県生活協同組合連合会  
第9回通常総会

# 自然災害に対する 署名の取組みについて

自然災害に対する国民的保障制度を求める  
県民会議事務局長 労福協理事長

松井 勇



4月末、「仮設入居者生活、健康実態調査」の報告集会が神戸市で開かれました。調査にあられた病院長は、「地震自体のストレスに加え、仮設の居住環境や先行きの不安が住民の心身に大きなストレスを加えている」と話されました。狭心症や胃潰瘍のいずれも半数以上が震災後の発症であり、うつ<sup>うつ</sup>の症状や不眠の訴えも激増、依然関連死が後を絶ちません。

自然災害と隣り合わせで生活することを余儀無くされている私達は、一人一人が災害に備えなければなりません。高齡社会が進む中、阪神・淡路大震災のあの夥しい被害と二年余の再起を期した被災者の苦闘を見る時、政府と地方公共団体が「何をなすべきか」は明確になったと思います。

それはいうまでもなく、生活再建への公的

支援制度を整備し、被災者が住み慣れた街で安心して暮らせるシステムをつくることではないでしょうか。「未曾有の災害を経験した被災地として、国民的な保障制度は必要と痛感した。」この貝原兵庫県知事の訴えに共感し、皆さんと共に24万余の県民署名に成功いたしました。しかし、「公的支援制度の確立」は、いよいよ正念場にさしかかりました。共に頑張りましょう。

尚、自然災害に対する国民的保障制度を求める県民会議としての署名行動や各単協での取組みが強化され 3月31日現在、県民会議22万目標に対して230,979人、生協連10万目標に対して112,769人になりました。

県民会議として市町村議会に対して審議会設立の意見提出を採択してもらうよう、また、県選出国會議員へ働き掛けることが確認されました。

## “消費税率5% 実感しています”

ならコープ消費者ネットワークこむらいふ 監事 黒崎 陽子

消費税率5%になってはや2か月がたちました。たった2%の引上げなのにこの重さはどうでしょう。まさに実感という感じです。

所得税などの直接税やガソリン・消費税などの間接税、税金ではないが健康保険や国民年金などの準税金が私たちの家計に占める割合はうなぎのぼりです。なのにまた医療費が上がり、生・損保険の控除がなくなるとか、介護保険とかめじろおして、諫早湾のむつごろうではありませんが、日干しになってしまいそうな状況です。

ならコープでは1989年の消費税導入以来“消費税の廃止を求める関西連絡会”のもとに一貫して

反対してました。今回の5%への引上げについても昨年6月には75,000人余の署名を総理府に提出し、毎月1日を消費税の日として街頭で署名や宣伝活動をしてきました。

4月1日をもって消費税は5%になってしまいましたが、食料品への5%は世界に類をみないし、低所得者ほど影響の大きい逆進性は問題です。また福祉という掛け声ばかりで、住専支出や公共事業投資計画など、税金の使われ方にも問題は山積みです。ならコープではこれからも消費税問題に取り組んでいきます。

# インターネットは、コンピュータを 身近にしてくれるモノ、 インターネットは人と人をつなぐ ツールなんだ



県立商科大学生協 3 回生 緑川 <sup>たかし</sup>天

最近、世界をにぎわしているインターネット、日本でも、いえ、この奈良でもここ2年程で爆発的に普及し注目を浴びてきています。僕もここ2年で急激なスピードでコンピュータの世界に引き込まれていった人間の1人です。今では、奈良女子大学生協、春日自動車教習所のホームページ制作に携わり、インターネットを通して僕が将来にやりたいことがどんどん見えて来るようにまでなるほど、僕とインターネットは切り放せない物となっています。

僕が初めてインターネットを実感したのは、チャット（ネット上で文字によりリアルタイムに会話すること）。ホームページで個人の情報やちまたの情報を収集する事も面白かったのですが、チャットをすることで他のユーザーとのコミュニケーションが始まったのです。初めてチャットにつながった時は興奮して手が震えたことを今でも忘れられません。アクセスすれば、必ずそこには誰かがいる、顔も背格好も知らない友達とたわいもない話の中から相手がどんな仕事をし、どんなことに興味を持っていて、どんな意見を持って、何を大切にしているのかが分かる。これは不思議な体験でした。

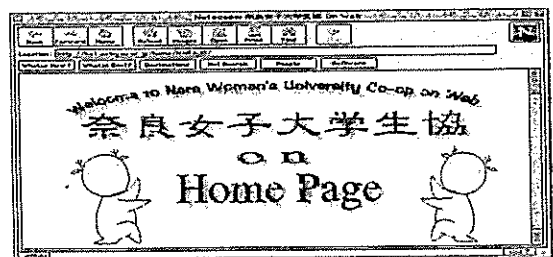
僕は、この実感と感動をいろんな人に教えてたくて知り合いとよくインターネットを話題にした。反応は2種類、やる人とやらない人です。ネットでの日々がずいぶん経っても僕の興奮は治まりませんでした。だからといって、家に籠りっきりになったのではなく、むしろその逆です。電子メールアドレスやホームページを持っている人に電子メールを送れば伝わるし、他大学の学生ともメールで連絡をし、会う事もしばしばでした。

昨年末に自分のホームページを開設して、その中に全国総会の様子を写真中心で紹介した「超個人的全国総会日記」のページを奈良に帰ってきたその日に作り、次の日には公開しました。総会に参加した人はもちろん、参加しなかった人が総会日記を見て総会の雰囲気

気が伝わるようにしたかった。だから画像を多用し文字を読んで伝えるのではなく、絵を見た人の感性にそのまま伝わるホームページを作りたいと思いました。それを極力早く、リアルタイムに。僕の作った総会日記を見てインターネットの世界に足を踏み入れてくれた人がいます。奈良女子大生協の専務理事さんです。総会日記を作ったその気持ちで奈良女のホームページを一緒に作ろうという話があがり、新入生の為に世界に一つしかないオリジナリティーと見た人が一目で奈良女生協がどんなところなのか伝わるようなホームページを二人三脚で紆余曲折の末に作りました。今までに450人近い人が見てくれていて、全国から感想の電子メールも寄せられています。ホームページを通してここにもチャットで得た実感とはまた違った人のつながりを実感しました。

今ひょっとすると僕は勝手に、インターネットに対して過渡的なハイな状態にあるのかも知れません。ネットで仕事の連絡が全部できるわけでもないし、ネットだからと言って誰とでも友達になれるわけではない。情報量が増えてもそれを消化できなければ無いに等しい。ホームページで情報を発信することでマスメディアに負けない情報発信ができるわけでもないということは確かです。しかし、インターネットで人と出会ったり、コミュニケーションを深めたり、今いる自分が次に行動するきっかけになることだけは確信しています。「まあ、とりあえず理屈抜きで（奈良女のホームページ）を見てみよう」

<http://ha1.seikyoku.ne.jp/home/NARAJO>



# 第7回奈良県生協大会

－ 協同の力をすみずみの町に－

2月1日（土）14時～17時春日ホテルに於いて、県や諸団体からの来賓7名を含め56名の参加者で行われました。今年は、国立奈良工業高専と樟蔭女子短期大学の2つの大学生協が増え8生協（参加7）の集いとなりました。会長賞の表彰や、各生協の活動報告、ならコープ理事による福祉のとりくみについての寸劇等があり、和やかに交流しました。



吉岡県民生活課課長補佐による来賓あいさつ



繁田会長のあいさつ



乾杯の音頭をとる右手副会長



フレッシュなメンバーの樟蔭女子短大生



福祉の発表をするならコープあすなら劇団のみなさん





## 奈良県生協連会長賞

福祉・文化推進奈良県生協連合会会長賞としてコープおしくま食事の会、リサイクル推進奈良県生協連合会会長賞としてリサイクルクラブ天理のそれぞれが表彰され、代表者が繁田県連会長から賞状と金一封を授与されました。



コープおしくま食事の会の此村さん(中央)  
伊加田さん



リサイクルクラブ天理の貴田さん

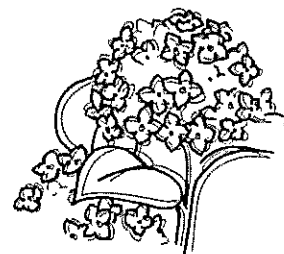
## 生協・行政協議会

5月8日(木)15時から、共済会館やまとに於いて行われました。県からは、奈良県生活環境部長西浦安博氏、県民生活課課長北岡四郎氏、県民生活課主査青山明彦氏に出席していただき、96年度奈良県生協連のまとめと97年度の方針についての報告や、各生協の現状報告がありました。



## 97年度奈良県職員異動(抜粋)

部署・役職	氏名	旧部署・役職
生活環境部 部長	西浦安博	教育次長
生活環境部 次長	山中弘司	橿原考古学研究所 副所長
生活環境部 環境管理課課長補佐	藤田 正	工業技術センター総務課長
生活環境部 環境保全課長	藤崎憲治	道路公社総務課長
福祉部 高齢者福祉課課長	谷川義明	同話対策課主幹
福祉部 高齢者福祉課主幹兼課長補佐	大杉 豊	人事課主幹
〈お世話になった方々〉		
退職	若竹 清	生活環境部部長
万葉ミュージアム建設室長	藤田和弘	総合調整室長
中央卸売市場場長	福本博之	生活環境部次長
教育次長	伊藤博敏	高齢福祉課課長
企画部 風致保全課長	藤本凱弘	環境保全課長



# — 広がる協同・くらしの輪 —

## 重油回収支援活動

ロシア船籍タンカー重油流出事故に対する支援活動では、労済生協500万円・ならコープ350万円の義援金とタオル1.5千枚などと共に3月1日には大学生協・労済生協・ならコープの職員のボランティア活動がありました。



## 食文化研究会総会

4月13日（日）奈良市中央公民館で第2回総会と第1回うまさ発掘ごっつお展が行われ、東大寺管長守屋弘斎氏よりご講演をいただきました。



## 消費者団体交流プラザ

2月4日（火）県主催で「なぜ消費者運動が必要なのか」というテーマで15団体23名、県関係7名の参加で行われました。

## 曾爾村との交流

2月20日（木）曾爾村生産者との異業種交流が、ならコープの物流センターで行われ、曾爾村30人、ならコープ20人の参加がありました。

## 消費者団体懇談会

3月11日（火）関西電力と大阪ガスへ、ならコープから2名、計11名の参加で申し入れを行いました。



## アースデースプリングInなら'97

4月20日(日)奈良県第一浄化センター自由広場で行われ、大和川クリーン作戦・自然観察会、ステージイベント等があり、環境の取組みの熱演をした「子供エコクラブ」の子供達も含め約700名の参加があり、4トントラック2台分のごみを1時間で集めました。



高専と教育大の学生の協力によるクイズ



朗読劇をする子供エコクラブ



集まったゴミの山

## 奈良県住みよい福祉のまちづくり施設賞 最優秀賞受賞!

第1回「奈良県住みよい福祉のまちづくり施設賞」の最優秀賞に「コープみみなし」が優秀賞に「ディアーズコープたつたがわ」が選ばれました。

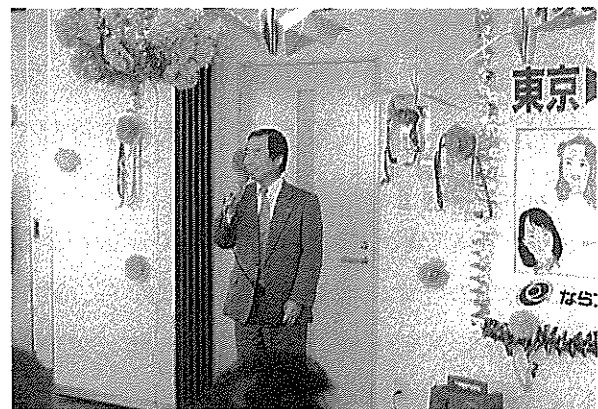
## 平和行進送り出し集会

4月28日(月)コープみみなしの集会室で、市民平和行進の送り出し集会が行われました。

今年ならコープ桜井支所の寺前公恵さん・コープみみなしの星野雅世さん・ディアーズコープたつたがわの村田典子さんの三人の女性職員が選ばれました。集会は210名の参加者で、激励のメッセージやプレゼントなどを手渡し盛大に送り出しました。



三人の行進者のあいさつ



激励の言葉を送る瀧川専務

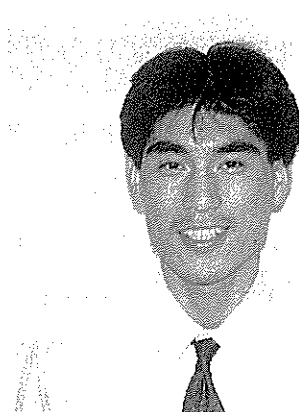
# Environment (環境)

## 今年の京都はあつい冬!!

～12月COP3に向けて～

ならコープ組合員活動室

福西 啓次



1997年5月6日。奈良の最高気温31℃。観測史上2番目に早く「真夏日」が訪れたようだ。(ちなみに平年の平均気温は22.9℃) 仕事から、真っ先に「地球温暖化」到来かと考えた。全くの素人発想だ。気候はいつも変動していて局地的に突発的なこともある。

さて「COP3」(Confarence of Party 3)という言葉は、まだほとんど知られていません。正式名は『気候変動枠組条約第3回締約国会議』といいますが、地球温暖化防止条約に関する第3回目の政府間会議のことで、それが、今年12月1日～12日まで京都で開催されます。

この会議がなぜ重要か?それは、誰もが危惧している温暖化の問題に対して、具体的に『いつまでに、どのレベルまで、どのような方法で』CO<sub>2</sub>の削減をするかを決定するからです。もう一つの注目は、『議長国』日本の対応です。通常このような問題は政府の仕事だと考えがちですが、実は、第1回のベルリン会議や第2回のジュネーブ会議でも、市民やNGOの関心や取り組みが大きな役割を果たしたという教訓があります。つまり、議長国民全体で取り組まなければならない重要な課題なのです。しかし、残念ながら、政府対応も市民活動もマスコミもそうならないのが現状です。

そんな中での、ならコープでの取り組みで

すが、6月に、興味や関心のある方を募集し、COP3実行委員会を結成する予定です。ここでは、不足している情報収集や発信を中心に、組合員への学習活動や地球温暖化対応の提起などを工夫して取り組みます。またならコープの事業活動に伴う環境負荷の低減の具体化も必要です。

ところで、一般的に温暖化の対策というと、アイドリングストップなどの自動車問題と考えてしまいがちですが、その事は当然重要ですが、ごみの減量やリサイクル、水光熱の省資源などの身近な暮らしのチェックで相当のCO<sub>2</sub>の削減ができるのです。世界各国「2005年までに現状の25%削減」とよく言われますが、同時にこれは、私たち一人一人が今より25%削減することなのです。ごみも電気も呼吸?も……そう考えれば、全く別の世界の話ではありません。

1997年12月1日。京都の最高気温30℃。それぞれが行動し、国民の盛り上がりで、観測史上最高のホットな冬になることを期待して……。

参考

	使用量(排出)	×係数	CO <sub>2</sub> 発生量
電気	kwh	×0.12	
ガス	m <sup>3</sup>	×0.64	
水道	m <sup>3</sup>	×0.16	
ガソリン	ℓ	×0.64	
ごみ	kg	×0.24	

# Welfare (福祉)

## 日常に近い生活をおくるために

ならコープ福祉法人担当

大國 康夫



私の父が3月10日に77歳で亡くなりました。父も病院、老健施設、病院と2年半の間にいたり来たりで癌治療もあり、その薬の副作用と耳が遠いので「痴呆」があるように言われていました。残った3冊の手帳に2年半の日記が記されていて、しっかりした内容と字で書かれているのにビックリしました。「痴呆」とは人が呼ぶものであり、ほんとうの姿は理解されないのでしょうか。

人は体験できれば、それにこしたことはありません。しかし、誰しも生活環境上でそうした経験に「恵まれない」ものです。それを補うには追体験しかないと考えます。本を読むことか耳学問がそれにあたり、師と仰ぐ人からの話か権力（お金か業務命令力）をもっている人からの強制学習が追体験の機会になります。高齢者福祉について考えることのできる人は、親の介護にあたった人か、学んだひとであり、人は人の中で考え人格ができてくると考えます。

設立準備委員会で『趣意書』を確認しました。その内容は①協同互助の精神にもとづく「参加型福祉」の活動を継続し発展させること②要介護高齢者の「人としての尊厳」を守り、安心して生活ができるような社会システムをつくるために努力すること③そのために特別養護老人ホーム等を建設し、地域福祉の充実とネットワークづくりの拠点とすることの3つです。

高齢者福祉施設をつくるにあたって、色々の方から意見をいただきました。「これからは絶対必要であるが、自分の父を施設に入ってもらおうように言い出せない」と共働きの方が言われました。その理由は①に在宅介護のヘルパーさんに来てもらうだけでも他人に家に入られることへの抵抗感があること②施設に入ることは社会から切り離され、子供は親不孝を感じることであり、「人としての尊厳」(大袈裟に言えば、自分のいままで頑張って

きた人生が否定された)を失うことだと想像します。しかし、私の両親は島根県で暮らしていましたし、車椅子では田舎の家は段差も多く、冷暖房もないので母だけでは介護ができません。長男の私は奈良県ですので、介護もできません。長く暮らした田舎を捨てることもできません。仕方なく父は「治るまで」大雪の降る山の中にある施設に入っていました。そして「うちの家の近くに施設をつくる方が見学にこられた」と書いています、それは施設が家の近くだったらいいのと言う思いが感じられました。父は施設は新築でいい人ばかりで感謝していました。「施設に親を入れるのは親不孝だ」と言われた方がいましたが、施設利用をせざるを得ない事情をそれぞれ抱えています。また、施設への偏見と家庭介護の妄想があるように思います。

樋口恵子さんが「50歳代は最初の介護者であり、最初の介護されない世代である」と言われました。1世代前は70歳以上の親は少なく「親孝行したいとき親はなく」と言われていました。今はほとんど70~80歳以上長生きします。子供はほとんどサラリーマン（私もそうですが農業では収入が少なく生活できない）で50歳代以上になります。誰が介護するのでしょうか。

家の近くに高齢者福祉施設があり、家族の顔がみえ（在宅、施設）介護があれば自立して日常にちかい生活をおくれるようになります。幼稚園のように家の近くに施設があることが「人としての尊厳」を守るための条件になると考えます。一人でも困っているひとがいれば、みんなで施設をつくり介護支援してあげるのが、協同であり高齢者福祉ではないのでしょうか。

みなさんの協力なくしてこの施設は実現できませんのでご理解を切にお願い致します。（あすなら福祉募金振込用紙を用意しています）

# 県連活動 *A r e · K o r e*

## 奈良教育大学生協

例年、新入生を歓迎する企画として、さくらハイク（飛火野散策）、お料理講習会、学内探検隊（上級生の案内によるキャンパス巡り）、アルコールパッチテストなどを行っていますが、今年は新入生の関心に応えた企画として大学の情報処理センターを活用したパソコン教室を行いました。100名を超える応募者があったため、抽選で80名の新入生に参加してもらい、主にパソコンの扱い方から、インターネットの活用（電子メールとブラウザの閲覧）までを講習しました。新入生の中にはもう日常生活で電子メールを活用している学生もいるようです。

また、もう一つ初めての試みとして、卒業生の使わなくなった下宿用品のリサイクルを行いました。卒業生が快く用品を提供して下さり、ほとんど全てが新入生に使っていただくことができました。今後もこうした取り組みを広げて行ければと考えています。

（疋田専務理事）

## 樟蔭女子短期大学生協

樟蔭女子短期大学生協同組合は、昨年6月に創立総会を迎え、9月から仮店舗で購買の営業を開始しましたが、この4月から移管を受けた食堂と新装となった購買での営業を開始しました。

食堂は140席、定食スタイルからカフェテリアに変更し、女子大らしくケーキ等も提供しています。利用は従来の2倍以上に増え、レシートでのカロリーと栄養価表示も話題になっています。購買は約18坪、コンビニエン

ス商品が中心の店舗です。

大学の周辺には店舗が殆どないので、大学内の生活を支える店舗の役割は大きいものがあります。

組合員の期待と、生協の設立を決定していただいた学園、大学の期待に応えるため、12名の職員と共にならばりたいと思っています。

（西尾店長）

## 奈良高専生協

こんにちは、奈良高専生協です。みなさんのご協力により昨年2月に設立し、ようやく1年が過ぎました。この間数々のご支援やご援助いただいたことに深く感謝し、連帯の大切さを再確認して2年目の活動を始めています。

5月15日に第1回通常総会を開催して新年度の方針を論議いたしました。その基本的な考え方は、やはり組合員にとってどうお役に立てるのか、ということです。すでに4月にはじめて教科書・教材の販売を行い、「これまでより安く買えた」「買うまで長時間またされていたのがスムーズに買うことができた」など、生協ができてから良くなったと学生・教職員から一定の評価をいただいています。また学生の自主的活動の面でもゴミ問題をはじめとした取り組みにこれまでにない動きが生まれています。高専で初めての生協として、みなさんのご協力を得ながらこれからも頑張っていきたいと思っています。

（桐川専務理事）

## ならコープ

あすのなるを考える講座…

「あすなら塾」多彩な講師陣で！

95年より、時々のならコープの活動の重点課題を系統的に学習するために、『あすなら塾』を開設してきました。今回は「食の安全」コースも新設し、組合員からも期待が高まっています。主な内容は

・福祉コース…5/23「地域福祉拠点の意味」こぶしの里施設長廣末利弥氏、5/28「開かれた高齢者施設」喜楽苑相談員若宮達也氏、6/10「ならコープが目指す参加型福祉とは」ならコープ常任理事村城正氏…（この他基礎コースも4課あります）

・環境コース…6/20「リターナブルPETって…欧州の最新事情」日本生協連環境事業室元川浩司氏、7/10「地球温暖化への対策」環境NGOKASA早川光俊氏

・食の安全コース…5/21「食生活の変化と食の安全」神戸大学教授金沢和樹氏、6/25「バイオ食品とはどんなもの」奈良先端科学技術大学院大新名惇彦氏…など

（新田組合員活動室課長）

## 労済生協

2月5日より開講しておりました第3回ホームヘルパー3級養成講座が、去る4月23日をもって終了いたしました。当初は、50名の定員で予定しておりましたが、開講当日キャンセル等が多数あり、28名での受講となり、そのうち26名の方が終了されました。今後この方々は、終了生で組織する「やすらぎの会」の一員として施設ボランティア等の活動に参加します。

また、6月よりはホームヘルパー2級養成

講座を30名の定員で実施します。すでに募集・抽選も終り開講を待つところです。

その他としまして、毎年実施しております「親と子のふれあいウォークラリー」を、4月27日晴天のもと行いました。今年も、「地酒のふるさとを訪ねて」をテーマに奈良市立田原小学校をスタートし、のどかな田園風景の中を歩き、清澄の里（正歴寺・帯解寺周辺）帯解寺のゴールをめざしました。

当初500名の予定で募集しましたが、残念ながら当日参加者は300名程度となり、以降開催設定の課題となりました。

（武本事業推進二課課長）

## 奈良女子大学生協

新入生歓迎の企画はことしも盛りだくさん  
入試→「頑張れ受験生」のピラ配り

- ・父母対象には、大学生活説明会合格→「合格おめでとう袋」を郵送
- ・大学生活紹介パンフレット  
=奈良女パスポート
- ・周辺地図=奈良おさんぽマップ
- ・料理冊子=ひとりぐらしのかんたんりょうり
- ・共済パンフレット=ためろう119番  
(改訂版)

入学前日→歓迎イベント「エントランスイブ」

- ・不安解消  
学校めぐり／一足先に友達をつくらう

授業開始→→新入生相談

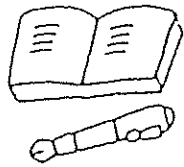
- ・受講登録の仕方教えます

5月の連休→→れいんぼーハイク

- ・他大学の友達をつくらう

（小林専務理事）

# 県連日誌



—お 知 ら せ—

- 2/1 第7回生協大会
- 2/4 消費者団体交流プラザ
- 2/6 緊急物資協定(県庁)
- 2/12~13 近畿地区府県連協議会
- 2/17 消費者ふれあい広場(近鉄百貨店)
- 2/20 曾爾村との交流会
- 2/25 第6回事務局会議
  
- 3/10 関西電力交渉
- 3/28 府県連協議会
  
- 4/3 第5回理事会
- 4/8 関西地連地区別代議員会
- 4/17 第13回関西地連総会
- 4/28 平和行進者送り出し集会
  
- 5/1 監査
- 5/8 第6回理事会 生協・行政協議会
- 5/15 奈良高専生協通常総会
- 5/23 奈良教育大学生協通常総代会
- 5/24 奈良県立商科大学生協通常総会
- 5/29 ならコープ第24回通常総代会
- 5/30 奈良女子大学生協通常総代会
- 5/31 奈良県生協連第9回通常総会
  
- 6/5 樟蔭女子短期大学生協通常総会

申し込み問い合わせは  
奈良県生活協同組合連合会  
TEL0742-34-3535まで

## '97市民平和行進

県内行進

- 6月26日(木) 般若寺→ならコープ本部
- 27日(金) 県庁前→大仏殿横広場
- 28日(土) 郡山市役所→コープい  
まご
- 29日(日) コープみみなしにて  
平和コンサート
- 30日(月) ディアーズコープたつ  
たがわ→王寺町役場

## 協同組合デーのつどい

- とき 7月15日(火) 13:00~
- ところ 農協会館

## 労済生協総代会

- とき 7月30日(水) 13:30~
- ところ 春日野荘

## '97近畿地区・行政生協合同会議

9月3日~4日

関係性のマネジメン  
ト、関係型データベー  
ス等、最近関係性なる  
言葉をよく耳にする。  
環境問題は人と自然と



の関係性において、福祉、平和は人間社  
会における様々な人達との関係性におい  
て、県連は単協等との関係性において新  
しいものを創造する。この新しいものが  
価値あるものになるように頑張ってい  
たい。(県連事務局長 入口 俊彦)